



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCAs THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2011~2012)

- ・ **国際協会会長** Finn A. Pedersen (ノルウェイ)
『Audere est Facere - To dare is to do』
「とにかくやろう - 成せば成る」
- ・ **アジア地域会長** Wichiane Boonmapajorn (タイ)
『Audere est Facere - To dare is to do』
「とにかくやろう - 成せば成る」
スローガン 『Mission with Faith』
「信念をもって使命を果たそう」
- ・ **西日本区理事** 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)
『ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献』
『Contribute to Community through Active Services with Love』
副 題 『理想を目指して変革と行動!』
『Change Ourselves and Take Actions Our Lofty Goal』

2011年9月

761号

65期-03号

since 1948.5.17

・スポンサークラブ
大阪クラブ
・DBC 締結
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

会 長 濱崎 進一
次期 会長 長井 慎吾
直前 会長 馬場 一郎
副 会長 山本 常雄
書 記 浅野 純一
書 記 阪根 新
会 計 岩田 健司
会 計 足立 康幸
監 事 清水 彬久
担当主事 三島 浩司
部交流主査 馬場 一郎
区交流主任 廣瀬 一雄

六甲部会10月8日

神戸YMCAで開催

- ・ **六甲部部长** 森 紘一 (神戸学園都市クラブ) 『伝統を守り、若返りを図ろう!』
副 題 『もっと楽しく、もっと活発に!』
- ・ **西宮クラブ会長** 濱崎 進一 『皆で知恵を出し合い、行動して行こう!』
『Let's create wisdom each other, and let's take act up to all member's Y'sdom!』
- ・ **2011年9月 西日本区強調ポイント "Menette"** 大澤 玲子 ネット事業主任(熊本ひがしクラブ)
『各クラブでメネット例会を企画し、国内プロジェクトへの理解を深めましょう。』

2011年9月第一例会のご案内

日時: 2011年9月16日(金) 19時~

場所: 西宮YMCA 保育園3階ホール とくに

ドライバー: 浅野 純一メン、小野 勲メン

1. 開会点鐘 濱崎クラブ会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読・食前感謝
4. ゲスト・ビジター紹介 濱崎クラブ会長
5. 会食 一同
6. ゲストスピーチ 安行暁子メネット主査
国内プロジェクトについて (さんだクラブ)
メネットさんの参加をお待ちしております
7. お誕生日のお祝い
8. Y's ニュース・お知らせ 濱崎クラブ会長
9. YMCA 報告 三島主事
10. 閉会点鐘 濱崎クラブ会長

BF、チャリティラン、じゃがいもファンド、アジア地域大会報告、部会案内、ファミリープログラム、ローンボール大会、カーニバル、etc.

ファンド・BFの累計	8月	累計
ニコニコファンド	0p	3000p
Brotherhood Fund (BF)	0p	5700p
使用済切手	0g	0g
東日本大震災支援ファンド	0p	10,800p

今月の聖句

『すると、イエスはシモンに言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」そこで、彼らは舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。』
ルカによる福音書5章10節 11節

清水彬久メン 選

8月 例会出席状況 在籍会員数 22名

第1例会(8.19金) 第2例会(8.3金)

メン 17名 メン 12名

メネット・コメット 5名 メネット 0名

ゲスト・ビジター 47名 ゲスト・ビジター 0名

合計69名 make-up 3名 合計 12名

出席率 90.9% (累計出席率 93.2%)

HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

9月1日 岩田 健司メン、9月6日 丸山美巴
、9月17日 宮地京子メネット、9月21日 岡田
佑一郎メン、(先月分 8月6日 清水 彬久メン、
8月 19日 馬場 一郎メン)

〒662-0977 西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内 第一例会: 第3金曜日19時~
TEL: 0798-35-5987 FAX: 0798-23-6170 交通: JRさくら夙川下車南
西宮クラブホームページURL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html> (プリンテン)
西日本区ホームページURL: <http://www.ys-west.or.jp> (理事通信、事業主任通信、各主資料他)

今月のダイジェスト

A. 9月号ブリテン(定期報告版)

1. 会長メッセージ 濱崎進一 会長……………1
2. 第一例会報告 堤メン、山口(吉)メン……………2
3. 交流事業主任だより 広瀬交流事業主任……………3
4. 各部会のご案内……………3
5. 各種報告
 - EMC通信 山口政紀 EMC 委員長……………3
 - Y's ニュース 濱崎進一 会長……………3
 - YMCA 報告 三島浩司 主事……………4
 - 会計からのお願い 会計 岩田・足立……………5
6. 桑田隆明メン、エルマークロウ賞受賞 小野勅紘メン……………5
7. 今後の予定……………6
8. 編集後記……………6
9. 西日本区理事通信(9月号) 浅岡徹夫 理事……………7

B. 9月号ブリテン別冊(会員寄稿コーナー)

1. 神戸YMCA 125年を振り返って(その15)
長井慎吾 125周年記念事業実行委員長……………8
2. 西宮YMCA 保育園だより 三島浩司 園長……………9
3. 西宮・宝塚リーダー会だより 佐藤裕太 リーダー……………9
4. 六甲部西部合同納涼例会 山口吉郎メン……………9
5. 第24回台湾アジア地域大会 廣瀬敦子 メネット……………10
6. 水の流れのままに45(俳句) 小野勅紘メン……………11
「好朋友(はおぼんゆう)」
7. 「音を重ねる日々は心を重ねる日々」47……………12
楽団“あぶあぶあ”&ミュージカルチーム“LOVE”代表 ひがしのようにさん
8. 触主面登場-2……………12
9. 甲子園でお逢いしましょう 山本常雄メン……………12
10. 先遣隊 盛岡・宮古に行く 濱崎進一 会長……………13

第24回アジア地域大会台湾で開催、成功裡に終了 とーしゃ 多謝！

会長メッセージ



濱崎進一 会長

西宮クラブの皆様、お変わりありませんか。今夏の猛暑に体調を崩されておられませんか。ようやく過ぎやすい秋の到来と思いきや、いきなりの雨台風の洗礼。西日本を直撃したこの台風は各地に大きな被害をもたらしました。特に被害の大きかった地域の皆様にお見舞い申し上げます。

さて、前月まで会長方針の第1、第2項目についてお話ししましたが、今月は第3項目についてお話しいたします。第3項目は「3. 東日本大震災被災地への支援」です。会長方針4項目の内、第1、第2、第4項目は馬場直前会長の活動方針をそのまま継承したのですが、この第3項目は私が是非にと入れたものです。なぜこの項目を敢えて加えたのかは以下の通りです。

3.11東日本大震災が発生した丁度その頃、私は馬場(一)直前会長と山本メンから会長就任の要請を受けて、その打ち合わせをしていました。席上、山本メンから「この3

人(馬場一、山本、濱崎)で被災地支援に行かないか」との提案がありました。行くにしても全く未知の土地、訪ねる当てもない中、一体どこへ、どのようにして、またその目的は…と不安ばかりが湧き上がってきました。しかし、馬場(一)直前会長から、同盟採用の同期生である濱塚総主事が盛岡YMCAにいるし、以前神戸YMCAのスタッフの佐久間主事が同盟から宮古に派遣されて、現地入りして既に活躍しているから心配はいらないとのことであった。そこで、馬場(一)直前会長に連絡を入れてもらって、支援先として行くことになりました。

まず準備段階で、被災地支援訪問計画の試案(方法、資金、内容など)を3人で作成し、4月、5月の第二例会(兼役員会)に掛けて協議を重ね、5月第一例会において皆様に提起して了解を得て、さらに6月第一例会で皆様の了解、決議を頂き、資金計画のほぼ全てを予ねてから蓄積中であった西宮ファンドを利用させて頂き、その上有志から更なるカンパもお預りし6月18日出発に漕ぎ着けました。これも一重に皆様のご理解と支援の賜物と感謝します。

このように支援の糸口について私達ですが、支援はこれで終わりではなく、むしろ端緒に着いたばかり。本格的な支

援はこれからだと思います。私達3人は6月18日～22日の5日間盛岡YMCAや宮古支援センター、地域障害者支援グループあるいは、もりおかクラブなど多くの被災地を訪問してその実態を調査してきましたが、これから長期に亘って支援活動を積み重ねていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。特に今期の第3項目は会長方針として、取り組んでいきたいと思っております。

現地支援先訪問の様子はブリン別冊の報告に纏めましたので併せてご覧下さい。(ブリン別冊10を参照)

例会報告(8月)

ドライバー 堤 一幸メン
山口 吉郎メン



日時:2011年8月19日(金)18時30分～21時30分
会場:宝塚ホテル2F菊の間+屋上ピアガーデン
出席:浅野、足立、石井、岩田、小野、阪根、堤、長井、瀧、瀧崎、藤原、廣瀬、丸山、万本、山口(政)、山口(吉)、山本の各メン、ウイメン。出席会員17名。欠席4名(内、馬場(一)、馬場(貴)、三島の計3メンは第二例会にメイクアップ)メネットは瀧、廣瀬、宮地、山口(洋)、山本の各5メネット。計22名。ゲストは水野総主事、ピジターは合同例会の宝塚20、さんだ10、芦屋6の各3クラブ参加者+他のピジター10(進藤、鶴丹谷、森、藤井、松本、辻3、他2)、総勢69名。

8月例会(4クラブ合同納涼例会)が無事、2011年8月19日(金)に宝塚ホテルにおいて、さんだクラブの受付、司会等のお世話、宝塚クラブの皆さんの会場内の手配などを戴き、盛会に行われました。

当日午前中に降っていた雨が開会前には止み、「誰かさんの日ごろの行いが味方した」のかと思うほど回復し、屋上での懇親会では秋風が心地よい時間が過ごせました。

さて、当日は、18:30より8月例会が安行メン(さんだクラブ)の司会により行われ、都筑メン(芦屋クラブ会長)の『...原爆投下、「敗戦記念日」...』と祈り、「負けただけで

、終わっていないのか...!?'とそして、水野雄二神戸YMCA総主事の東日本大震災を通じての思い、神戸YMCAが目指す姿が聞けました。(超ショートメッセージ)

その後、屋上ピアガーデンに移動し、4クラブが一同に会しての懇親会を楽しみました。食前祈祷、さんだクラブチャーターメンバーである今田メン(宝塚クラブ)の乾杯をし、しばし歓談と会食の時間を過ごした後は、各クラブ持ちよりのアトラクションの順番が急遽、変更になり、トップバッターで馬場(一)メン(当日は欠席)原作の「クイズ宮古へ行ってきましたクイズ」で各クラブとゲストチーム選出の4チームで宴会場の大盛り上がりしました。声が届かなかったテーブル、白けた雰囲気でご慢されたテーブルの皆さん、是非来年(次回)はドライバーを引き受けて、場を盛り上げてみて下さい。(苦笑)

宝塚クラブからは恒例の「フラダンス」が披露され、辻メンのマゴメットさんの「ソロダンス」は拍手喝采で、アンコールにも応えてもらい、「素晴らしい、可愛い」フラでした。芦屋クラブからは「パッティングコンテスト」で楽しみました。

最後にこの場をお借りして、クイズを製作いただいた馬場(一)メン、賞品の段取りをして下さった瀧崎メン、当日の段取りの手伝いいただいた山本メン、得点表等の備品を製作いただいた山口(吉)メン、その他の皆様ごに御礼を申し上げます。ありがとうございました。(堤 一幸)



宝塚クラブ恒例の出し物・石田ウイメン率いるフラガールたちの華麗な乱舞



フラのお姉さま方に刺激されて、乱舞する辻マゴメット(将来が楽しみ)

交流事業主任だより3

2011 - 12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン



8月5日(金)から7日(日)に台湾・Yilan で開催されましたアジア地域大会にメネットと参加してまいりました。4日には台風到来ということで心配しましたが幸運にも台北

を避けたコースで無事到着。3日間の大会プログラムは充実していましたが、クラブからの参加が私たちと小野メンだけとは、少々寂しくもありました。が、大会前後の盛りだくさんの行事で充実した5日間を過ごせました。



西日本区から大会参加の皆さんと記念撮影

12日(金)は六甲部8クラブのうち、神戸地区4クラブの合同納涼例会がグリーンヒルホテル神戸で催されました。この会にアジア大会のユースコンペーションに参加、7日の夜の懇親会で一緒にいた優秀な杉本匡隆君が出席。実は彼は神戸学園都市クラブの杉本メンのコメントでした。

19日(金)は六甲部の前記以外の西宮・宝塚・さんだ・芦屋の4クラブ合同納涼例会が宝塚ホテルで催されました。東館2F「菊」の間にて神戸 YMCA の水野総主事のゲストスピーチで簡潔に例会を済ませ、懇親会会場の屋上ピアガーデンへ全員移動。各ワイズアトラクション、アピール等楽しいひと時をすごしました。

各地で部会始まる

ワイズ西日本区は秋の到来と共に、今月末の8月28日(日)の中部部会を皮切りによいよ部会のシーズンです

。六甲部会はもちろんのこと、近隣の部会にもぜひ参加してまいしょう。案内は部会終了の10月まで掲載します。

各部会のスケジュール	開会時刻	会費
・ 8月28日(日)中部部会	13:00	¥10,000
名鉄ニューグランドホテル(名古屋市)		
・ 9月11日(日)京都部部会	10:00	¥6,000
福知山市三段池公園体育館(福知山市)		
・ 9月17日(土)中西部部会	13:00	¥6,000
ホテルクライトン新大阪(吹田市)		
・ 9月23日(金・祝)阪和部部会	11:30	¥4,000
大阪南YMCA(大阪市)		
・ 10月 1日(土)西中国部部会	13:00	¥8,000
広島YMCA(広島市)		
・ 10月 2日(日)九州部部会	13:00	未定
霧島ホテル(鹿児島市)		
10月 8日(土)六甲部部会	13:00	
神戸YMCA(神戸市)		¥7,000
・ 10月15日(土)瀬戸山陰部部会	13:00	¥2,000
日本キリスト教団岡山教会(岡山市)		
・ 10月16日(日)びわこ部部会	12:00	¥10,000
クサツエストピアホテル(草津市)		

黒太字は近隣の部会、青太字はDBCクラブ所属の部会です。ご都合のよい部会に積極的に参加まいしょう。(詳しくはワイズHPをご覧ください。)

EMC通信2



山口 政紀 EMC 委員長

前期新入会の万本敬一メンとEMC担当しています。毎月の出席集計を万本メン、その他を山口が担当しています。昨年に続いてメーカーアップ(MU)を出来るだけ活用して下さい。そして、出来れば「クラブ出席率」が向上するように願っています。二か月が集計され、90%を超える平均です。メン・メネットの近況もお知らせ頂いて補強まいしょう。(山口政紀)

Y's ニュース

濱崎 進一 会長

1. 神戸 YMCA 125周年記念シンポジウム

日時: 9月10日(土) 13:30 ~ 17:00

会場: 日本基督教団神戸教会(地下鉄県庁前下車)

パネリスト: 湊晶子氏、長尾ひろみ氏、大江浩氏

テーマ：“平和を実現するために、今、私達に求められていること” 定員250名 参加無料

2. 西宮 YMCA ファミリープロジェクト

日時：9月23日(金祝)

以下のYMCAニュースをご参照下さい。

3. 六甲部交流・チャリティ ローンボウル大会

場所：神戸市北区しあわせの村 ローンボウルズ場

日間：9月24日(土) 8:30～16:30の予定、

参加費用：選手1人当たり1000円

4. 第10回六甲部部会10月8日(土)

13:15～19:30(受付 13:00より)

場所：神戸YMCA、ANAクラウンプラザホテル

参加費：7,000円、参加申し込み締切：9月17日

5. 西宮 YMCA・西宮 YMCA保育園合同カーニバル

日時：10月16日(日)10:00～15:00

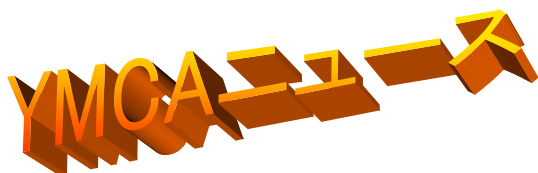
15日(土)13:00より値付け準備作業を行います。

第一例会と兼ねますので皆様参加下さい。

6. じゃがいもファンド

日時：10月21日(金)～23日(日)

10月21日18:00瀨メソ宅着・荷卸し



西宮YMCA 三島浩司メン

早朝からの蝉時雨で目を覚ましていた夏も終わり、明け方の肌寒さで目覚める季節へと移りつつあります。今年の夏、神戸YMCAのキャンプには、1500名余りの子ども達が参加してくださいました。日帰りのデイキャンプや西宮市の喘息児キャンプ、学童保育のキャンプなどを加えると、さらに多くの子ども達に、YMCAのプログラムを通して多くの楽しみや感動を体験していただけたのではないかと思います。

あるデイキャンプに参加したリーダーとの評価会で「リーダーにとっては幾つかのキャンプの中の一つかもしれないが、子ども達にとっては、1/1。一つ一つのキャンプを大切に」というお話をさせていただきました。ユースリーダー1年目の夏のあるキャンプで、私は就寝前の子ども達にマザーテレサのお話をしました。2年後の夏、私がマザーテレサのお話をしたキャンパーの弟さんが私が担当したグループにいました。夜、就寝前、その弟さんが「リーダー、今日は何のお話してくれるの？お兄ちゃんの時は、マザーテレサのお話を聞いたっ

て言ってたよ。」と。正直言って驚きました。彼のお兄さんと行ったキャンプの後、沢山のキャンプで色々なお話をしていた事もある、2年前のキャンプで自分がそのようなお話をしたことなどすっかり忘れていたからです。私にとっては、多くの一つでしかなかったのですが、彼のお兄さんにとっては『1/1』だったのです。今年の夏は、久しぶりにそのことを思い出しながらリーダーとお話をさせていただきました。この夏のプログラム参加して下さった子ども達、リーダーたちの心にも素晴らしい『1/1』が刻まれたことを信じたいと思います。

今後の予定

1) 125周年記念講演会・シンポジウム

日時：9月10日(土)13:30～17:00

場所：日本基督教団 神戸教会
(神戸市中央区花隈町)

テーマ：真の国際人とは

～いま、私たちに求められていること～

プログラム：

第1部 記念講演「私を生きる、共に生きる」

講師：湊 晶子氏

(前東京女子大学学長・ワールドビジョン
国際理事)

第2部 シンポジウム「平和を実現するために」

シンポジスト：

湊 晶子氏

長尾ひろみ氏(広島女学院大学学長)

大江 浩氏(日本キリスト教海外医療協会総主事)

参加費：無料

申込：FAX:078-241-3619 又は

E-mail: 125event@kobeymca.orgまで。

2) 西宮YMCA保育園・西宮YMCAファミリープログラム

日時：9月23日(金・祝)9:30～15:15

場所：兵庫県立海洋体育館(芦屋市浜風町)

参加費：小学生以上500円、幼児以下無料

申込：西宮YMCAへ電話にてお申込下さい。

TEL:0798-35-5987

今回は、カヌーやカヤックに挑戦します。

ぜひご参加ください。

3) 秋の幼稚園・保育園運動会

西宮YMCA保育園 9月17日(土)

ちとせ幼稚園 9月17日(土)

西神戸YMCA幼稚園 9月18日(日)
Y M C A 保育園 10月 8日(土)
西神戸YMCA保育園 10月 8日(土)
是非お近くの幼稚園、保育園の運動会を
ご覧ください。西宮YMCA保育園は森具公園
にて行います。

4)秋のバザー・カーニバル

西宮Yカーニバル 10月16日(日)
学園都市Yわいわい祭り 10月16日(日)
三宮Y国際バザー 10月23日(日)
西神戸Y幼稚園バザー 10月29日(土)
六甲部各クラブがそれぞれのバザー・カーニバル
で ご奉仕くださいます。是非お出かけください。

5)第25回チャリティーゴルフ

日 程: 10月19日(水)
場 所: オリンピックゴルフ倶楽部(三木市細川町)
参加費: 20,000 円(予定)

会計よりのお願い

会計 岩田 健司
足立 康幸

2011 - 2012年度も始まりました。西宮クラブ今期の
前期(7月~12月)分の会費を集めております。皆様速
やかに会計の方までお寄せ下さい。例会時に現金でお持
ちくださっても結構ですし、下記の口座に振り込んでいた
だいても結構です。なお、振込み手数料はご負担下さい。
よろしく願いいたします。

振込み先口座: 三井住友銀行夙川支店 普通預金、口座番号: 3230220 口座名: 西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

桑田隆明メン、エルマークロウ賞受賞!

小野 勅紘メン

私はワイズに入って以来、部会の挨拶で部長や会長が
涙を流して歓迎してくれた人を2人知っています。その内の
1人は長浜クラブの吉村秀喜直前会長で、もう1人が今
回の直前西中国部長の桑田隆明さんである。

いずれも昨年の部会での経験であるが、昨年のびわこ

部会は10月3日(日)北滋賀の余呉のキャンプ場で開催
されました。唯でさえ遠方、辺鄙なキャンプ場、日曜日開
催となると教会に通っている者には一苦労である。この日も
礼拝を終えて新幹線新神戸駅から米原経由タクシー便で
駆けつけた頃には既に14時を大きく廻っていた。それでも、
約280人が集まり壮観な部会となった。最後に足が悪く松
葉杖をついて現れた長浜クラブ吉村会長が「こんな遠方ま
で、皆様ようこそいらっしゃいました。本当にありがとうござ
いました」と涙ながらに全員を見送って下さいました。

その前の9月25日(土)には福山 YMCA で西中国部会
が開かれた。YMCA の会館を使った手作りのさやかな部
会であったが、ここでも当時部長であった桑田隆明さんが「
こんな不便しかも小さな福山へ、こんなにも沢山の皆様
にお越しいただきありがとうございました。」と涙ながらに挨拶
されました。駅から5分位の立地で、建物もさすがに古さ
を感じるものの、しっかりと地道な活動が伺える YMCA で
あった。何事にも一生懸命で感激屋さんの桑田さんは、そ
の前にも「折りづるラン」で大野メンを福山に出迎えてサポ
ートされていました。この時も大野メンの話では「桑田さんか
らの涙の歓迎を受けた」とのこと。

その桑田さんがこのアジア地域大会で「エルマークロウ賞」
の受賞に輝いた。実に素晴らしいことだ。突然のことであ
ったが、当の本人にはあまりその実感がないような感じであ
った。この日はいつもの涙はなかった。これを機会に益々
ワイズダム構築のために尽力頂きますよう影ながら期待
しています。

桑田さんが所属しておられる福山クラブは、かつて33名
の会員を誇る時期がありましたが、数年前には2名まで落
ち込み、クラブ存亡の危機までになりました。それを桑田
さんの頑張りで8名までに回復しました。まだまだ安定時期
とは言えず、今後の活動がその将来を占うことになるよう
です。こういった浮き沈みはどこにでもある事実ですから、
不断の着実な努力が必要であることは言うまでもないこと
でしょう。



高田直前アジア地域会長から受賞の桑田メン

因みに今回ホテルの部屋が隣同士でよくお会いし、お話を
お聞きし、活力あふれる様子を伺うことが出来ました。

【今後の予定】

ドライバーの予定

10月(馬場(貴)、石井)、11月(足立、丸山)、
12月(山本、小野)、1月(濱崎、三島)、
2月(廣瀬、藤原)、3月(山口政、万本)

60周年記念誌編集作業:第2・第4金曜中心

六甲部他クラブの第一例会予定(計145名)

- ・神戸クラブ(第2火曜日、神戸YMCAサイコー亭)21名
- ・神戸西クラブ(第3火曜日、同上)10名+2名(入会)
- ・神戸ポートクラブ(第2木曜日、グリーンホテル神戸)19名
- ・宝塚クラブ(第2水曜日、宝塚ホテル)21名
- ・さんだクラブ(第2水曜日、三田YMCA)18名
- ・神戸学園都市クラブ(第3木曜日、西神戸YMCA)18名
- ・芦屋クラブ(第3水曜日、ホテル竹園芦屋)17名

9月の予定

2日(水)第二例会(兼役員会)西宮Y 19時~、
10日(土)神戸YMCA125周年記念シンポジウム、
13:30 17:00、神戸教会にて、11日(日)京都部部
会 福知山市三段池公園体育館、16日(金)第一例
会(ドライバー:浅野、小野)19時~、17日(土)中西部
部会 ホテルクライトン新大阪、23日(金・祝)阪和部部
会 大阪南YMCA、24日(土)六甲部チャリティーローン
ボール大会、

10月の予定

10月1日(土)西中国部部会 広島YMCA、10月2日
(日)九州部部会 霧島ホテル、10月7日(金)第二例会
、10月8日(土)六甲部部会、神戸YMCA、10月15日(土)
瀬戸山陰部部会、岡山教会、10月16日(日)西
宮YMCA・保育園合同カーニバル、10月16日(日)びわ
こ部部会、クサツエストピアH、10月19日(水)神戸YMC
A第25回チャリティゴルフ、オリムピックゴルフ倶楽部、21
日(金)~23日(日)じゃがいもファンド始まる。21日(金)
18時濱宅じゃがいも到着荷卸し作業~配達作業、10
月23日(日)神戸YMCAバザー、

11月以降の予定

3日(木)チャリティラン、しあわせの村、4日(金)第二例会
、6日(日)あぶあぶあコンサート、うはらホール、

東日本大震災被災地を支援しましょう



編集後記

8月はワイズの国内のプログラムは一休み。夏休みで、
キャンプや花火大会などの計画も順調。多くのクラブでは
納涼例会などを持っているようです。

海外では隔年毎の国際大会、地域大会とビッグイベ
ントの月。今年も台湾で「第24回アジア地域大会」が開催
されて、大変すばらしい成果を挙げました。約800名を
越える参加者は見事でした。今回でアジア地域から韓国
エリアが独立して、アジア地域の75%(4000名の内日
本が3000名)は日本になり、ますます日本エリアの責任
と役割が大きくなります。

これは何もワイズだけのことではなく、私には政治や経済
の構図がそのままワイズに反映されているのではないかと危
惧しています。もはや中国や韓国は日本を追い越して、独
立心が成長してきたということでしょう。せっかく大事に育て
てきた子供が親を乗り越えるまで成長した姿を彷彿とします。

東日本大震災への支援もアジア地域では台湾から群を
抜いて多額の支援を頂いています。台湾の皆様のご誠意あ
るご努力は目を見張るばかりです。

昨年の横浜国際大会の反省もそこそこで過ぎてしまいま
したが、我が日本も本腰を入れて負けないよう努力が求め
られます。それは取りも直さずワイズだけでなく、何事にお
いても「本気で当たっているか、御座なりで済ませているかの
違い」かもしれません。今一度我々も本気で当たってい
かねばと真剣に感じました。(プリテン委員長 小野 勅紘)

理事通信(9月号)

東日本大震災復興にむけて

11 - 12年度西日本区理事 浅岡 徹夫

7月はワイズメンズクラブにとってキックオフの月であり、各々のクラブでしっかりとキックオフ例会が持たれたことと思います。西日本区としても7月16～17日に第1回の役員会が開催されました。役員会には西日本区九部の部長、七事業の事業主任、直前理事、次期理事、理事、書記、会計(以上21名は議決権を持つ)、財政監事、行政監事、各種の委員会委員長、YMCA 区連絡主事、事務局長、事務所職員、事務局員、次期事務局その他オプザーバの皆さんを合わせると約40名の方が参加され熱い議論が交わされました。

この役員会が始まる前に、今期から設けられた「東日本大震災復興支援検討委員会」が開催されました。理事が委員長で、直前と次期の理事、地域奉仕・環境事業主任、書記、会計、事務局長の計7名で会議を行いました。今回の会議で概略以下の事が決められました。

1. これまでどのような支援が行われたかの情報を収集し整理する。(地域奉仕・環境事業主任から各部に調査をお願いする。これまでの献金額を含む)
2. 今後も支援活動内容や献金額についての報告を頂く。他の部やクラブで参考となる情報は積極的に取り上げ情報発信する。
3. 東日本区の東日本大震災対策本部および日本YMCA 同盟と連携し、被災地の状況に対応した

支援のニーズを西日本区内に情報発信する。

4. 支援の仕方としては、支援献金、物資の贈呈、東北産の物資販売(食料は慎重に)、被災地でのボランティア活動、支援キャンペーンのワッペン・帽子などを検討する。
5. 大震災で親を亡くした遺児支援のために、他のNPO(あしなが育英会等)との連携・支援
6. 献金については、YMCA と連携して行う募金活動等は従来通り各YMCA に献金し、後で金額を報告頂く。ワイズ独自の献金は西日本区に送金頂き、西日本区として、日本YMCA 同盟を通じての指定献金などの方法で献金する。
7. 近い時期に委員の中から数名が被災地及び東日本対策本部や日本YMCA 同盟を訪問し、情報交換と今後の連携方法などを話し合う機会を持ちたい。

この会議の後の西日本区役員会では、各事業主任からの活動報告と質疑応答の後、議案の審議が行われ、各委員会からの報告がありました。翌日は各部長からの活動報告と質疑応答があり、YMCA の報告や東日本大震災関連の討議等が行われ、2日間の役員会は閉会しました。この役員会の中で、ワイズメンズクラブの将来の課題も含めて、前向きで有意義な議論が行われ、会議参加者は充実感を持って会場をしました。西日本区に対して具体的な改善意見などがある場合は、会長 部長を通じて役員会に上程していただきたい。今年度、どうぞよろしく願いいたします

ブリテン別冊(会員寄稿コーナー)

125年を振り返って



(その15)

神戸YMCA 125周年記念事業実行委員長

長井 慎吾メン



125周年に際し活動の原点を振り返るため、神戸YMCA 125年の先達の偉業をレビューしています。私のコメント(高校2年)が、今年のシアトル神戸ユースエクスチェンジプログラムに参加しました。7月25日から8月5日まで、ホームステイやキャンプ

プログラムなど、有意義な体験をして無事帰国しました。海外への渡航体験は出来るだけ若いうちにすべきであると思いたす。活きた英語に触れ異国の文化や価値観を知り得ることは人の人生を変えるほどの体験となるのではないのでしょうか。それを、初めて出会った同世代の若者同士の交流で体験することは、人間形成において貴重な経験でしょう。しかし、親として頼りない子供を単身で海外に出すことは心配きわまりないのですが、しっかりとした組織であるYMCAのプログラムなら安心です。彼は学校や日本に居ては体験のできない貴重な経験を得たと思います。このプログラムは「神戸とYMCA 百年」に次のように記載されています。

1957年10月に神戸市とシアトル市との間に姉妹都市提携がなされ、両都市の交流が開始されたのを契機に、両市にあるYMCAの交流を実施しようと3年後に開催された神戸YMCA 60周年記念式典には、シアトルYMCA副総主事ダグラス・ボイデンが来神しました。また、1963年の神戸市開催の市長会議に出席したシアトル市長クリントンが神戸YMCAを訪問し懇談を行いました。神戸YMCAはかねてから国際理解、交流並びに奉仕の諸事業を研究し実践してきたことから、交流の体制を準備することとなりました。

1965年に再び来神したクリントン市長との懇談で、相互の家庭生活を通じての生活体験から相互の理解を深めることで交流を深めることに合意し、これを開始することになりました。

かくして、1966年7月にマックルア主事夫妻を団長とした高校生10名がやってきました。翌年には、篠原慶弘、長坂真知子を指導者として15名の高校生が渡米ユースエクスチェンジプログラムが始まりました。その後このプログラムは毎年実施され、主事を含めてシアトルとの友情はますます深まりました。もちろん、5月8日に開催された125周年記念式典には、このプログラムを推進してきたコアメンバーがお祝いに駆けつけてくれました。

〔追記〕

シアトル神戸エクスチェンジプログラムの中で1966年7月から始まった交換プロジェクトについて、実は私は当時小豆島の第2キャンプ場としてその年に開設した「内海(うちのみ)キャンプ場(別名「キャンプ橋」)でスタッフとして滞在しており、第1回目のキャンプに幸いにも関わっていただけました。長井さんに了解を頂き少し追記させていただきました。

プログラムの集大成として、神戸YMCAの少年部メンバー約40人とシアトルの高校生の合同キャンプで、シアトルの10名の高校生の内男子2～3名を含む10名を担当しました。マックルア主事夫妻のお名前も懐かしく、男子の名前は忘れてしまいましたが、なぜか女子ではペギー、ローリー、ジェニファー、ベスといった名前は今でも記憶しています。第1回に果たして私で良かったのかは今でも思っています。

私がシニアカウンセラー(通称トム)で、佐々木リーダー(通称マッシー)がジュニアカウンセラーとして組み、2泊3日のテント生活を送りました。英語で苦労したのは言うまでもありません。小高さんという方が通訳で同伴されていました。その後一行は余島に立ち寄って帰国の途に付きました。

山崎(征)、二宮、山岸、宮林、多胡(旧姓足立、途中から三輪さん)の各主事も同行したと思います。リーダー仲間では山口(政)、草地、藤原(明)、浅原、山崎(薫)、草場、桜井(旧姓松浦)、坂本(旧姓森)、徳島(旧姓市橋)といった面々でしょうか。記憶は定かではありません。

当時の内海的环境は劣悪で平地は少なく、傾崖急峻で常に藪蚊やマムシがに悩まされて、水の出ない荒地でした。その後このキャンプ場は撤退を余儀なくされ、次代には沼島がこれに取って代わっていくのですが、今やその沼島も

なくなっています。そういった中で道路やキャンプサイト作りから開墾しました。現宝塚クラブの福田宏子さん(旧姓上田リーダー)と初めて乗り込んだのもこの内海で、もう45年も経ったのかと大変懐かしい思い出です。(小野勅紘)

保育園だより

三島 浩司メン(保育園園長)
(西宮YMCA 保育園だより 8月号より)
8月の主題:たのしむ



今年は例年よりも早い梅雨入りと梅雨明けでしたが、なかなか「真夏の太陽」が顔を出してくれません。すみれ・ゆり組のキャンプも「梅雨明け」を願って、例年より一週間遅らせて実施したのですが、六甲山上は「雲の中」でした。「夏のキャンプ」を願っていたから、当時の天候を少し残念に思いました。けれども、子ども達はどんな天気の中でもキャンプを楽しんでいました。甲山キャンプ場で川遊びのために山道を歩いていた時、一人の子どもが小さな虫を発見しました。「あ、虫や!」「ゲンゴロウとちゃう?」「ゲンゴロウは水のところからちがうわ!」確かに形は似ていましたが、山道の木の根っこあたりで発見したのでゲンゴロウではありません。子ども達には失礼ですが、「ゲンゴロウ」の名前や形を知っていたことに驚きました。

その後の川遊びでは、ヤゴを見つけたり、川岸の草むらでバッタを追い掛けたりと笑顔一杯。六甲山上でも保育園では見ることの出来ないヒグラシの小さな抜け殻を見つけたり、レインコートを着て山の中を散策したり、夜の探検に出掛けたりもしました。「キャンプへ行くぞ!」「川遊びへ行くぞ!」「山で虫を探すぞ!」そんな子ども達には、時折ばらつく「雨」もお手上げでした。子ども達は、いつでも、どこでも、何でも「楽しむ」力を持っています。水遊びや虫捕り等、保育園の中でもこの時期にしか出来ないことをどんどん楽しんで行ければと思います。

イエス様の12人の弟子の一人であったトマスは、イエス様が十字架に掛けられ、処刑される姿を見て大きな絶望の中にいました。そんなトマスは、他の弟子からイエス様が復活したと聞かされたとき、「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れて見なければ、また、この手をその脇腹に入れて見なければ、わたしは決して信じない」と語ったといわれています。そんなトマスの前に現れた復活したイエス様は、「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。またあなたの手を伸ばし、わたし

の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい」と語られました。イエス様はわたし達が見ることが出来る「死」や「病い」、「震災」などといった目に見える苦しみや悲しみではなく、目に見えない「愛」や「永遠の命」を私達に示すために来られたのです。私達はイエス様の姿をこの目で見ることは出来ませんが、イエス様の「愛」を信じ、見つめながら、子ども達と共に日々の歩みを続けたいと思います。こんなことを大切にしていきたいと思います。

8月聖句:信じない者ではなく、信じる者になりなさい。
(ヨハネによる福音書20章27節)

西宮・宝塚リーダー会だより

西宮・宝塚YMCA リーダー会

西宮・宝塚YMCAリーダー会 佐藤 裕太さん

ワイズメンズクラブの皆さん、いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援いただきありがとうございます。

8月の活動では余島や家島での泊まり込みのキャンプや日帰りのデイキャンプが数多く行われました。

8月9日には市ヶ原でサマーデイキャンプBの川遊びの活動が行われました。市ヶ原に到着するまでには地下鉄に乗ったり、ロープウェイに乗ったり、普段はあまり利用することのない乗り物に乗ることが出来、子ども達はとても楽しんでいました。その後、山道を歩いて市ヶ原に到着。汗をかいた後に入った川はとても気持ち良く、子ども達もとても楽しんでいました。また市ヶ原の川はとてもきれいで魚捕りや天然のウォータースライダーなどに子ども達はとても夢中になり、色々なことをして遊ぶことが出来ました。

これからも暑い中の活動が続きますが、リーダー会一同、子ども達の健康に気をつけて、子ども達が安全に、楽しく、元気よく活動できるよう心がけていきますので、今後ともご支援をよろしくお願い致します。

六甲部西部4クラブ合同納涼例会



山口 吉郎メン

連日体温を超えるような猛暑が続く中、「納涼」という

言葉に惹かれて六甲部西地区4クラブ(神戸、神戸西、神戸ポート、神戸学園都市)の合同納涼例会に参加しました。入会後初めての他クラブ例会への出席となります。また8月のドライバーでもあるので、参考のため合同例会というものの様子を前もって知っておきたかったので、初体験に出かけました。

場所は、神戸YMCAの山側・グリーンヒルホテル神戸のB1Fの宴会場。定刻7時より神戸西・大田会長の総合司会で始まり、神戸・鵜丹谷会長開会点鐘、ワイズソング、神戸ポート・山崎さまの聖句、ゲスト紹介とスムーズ進み、あっさり懇親会に突入しました。

懇親会は、食べ放題、飲み放題のバイキング形式で、料理の前には長蛇の列ができ、なかなか食事にありつかないほどの盛況でした。

西宮クラブからは、浅野、濱崎、馬場(一)、小野、広瀬、馬場(貴)、山口(政)そして私の各メン8名が参加しました。身内やかたまることなくいくつかのテーブルに分散して座し、めいめい他クラブメンバーと和やかに交流をもちました。途中で杉本コメントのアジア大会への参加報告があり、また大会の様子がプロジェクターにて紹介されてました。アピールタイムでは、各クラブの紹介が行われ、クラブ毎にメンバー全員が壇上に上がり、各会長よりメンバーの紹介がされました。

芦屋クラブがアトラクションとして、クラブ対抗パターゴルフを企画され、腕に自信のある代表が競い合い、結構熱くなり盛り上がりました。西宮からは、馬場(貴)さんが代表で出られましたが、入賞は残念ながら逃されました。結果は、練習球も含め4球ともホールインされた神戸学園都市・杉本会長が堂々の優勝でした。



芦屋クラブからのパターゴルフショット！ゴルフはファッションから

想像していた通りのワイズならではの和気藹々とした雰囲気の中、予定時刻となり、杉本会長の閉会挨拶、点鐘

にて終了となりました。参加者は7クラブ(神戸4クラブ+芦屋、宝塚、西宮)69名で大盛況でした。

アジア地域大会に参加して

廣瀬 敦子メネット



4日故宮博物館にて



8日午前市内観光で中正紀念堂(故蒋介石総統の業績を称えるメモリアルホールとして1980年に完成)へ入館口前で近江八幡クラブの皆さん、渋谷メンさんたちと記念写真の撮影風景

8月4日～8日まで第24回アジア大会台湾(宜蘭)Bコース5日間関空発着、アジア大会参加の旅にメンと行きました。

当初、西宮クラブメネット参加が私だけということで少々心細くもありましたが、近江八幡の皆さんや以前色々な会合でお会いをした皆さんと親しくして戴き安心しました。

故宮博物館でのお土産やさんで安田事務局長さんと同じように翠玉白菜を買い求めました。

6日、土曜日の午前、メネットプログラムでのDIYではPandora Glass Bead, Sly Lanternを芦屋クラブの島田メネットさん、皆さんと一緒に楽しく手作りいたしました。

アジア大会も台湾旅行も私のにとって初めての経験で言葉の不安もありましたが、素敵なお仲間との出会いを持つ

ことができ、海外のメネット・メンの皆さんと交流がもてたことが貴重な体験でした。

水の流れる夢まに45

(俳句)



山野 直行ともくに(小野勅紘メン)

このコーナーは私が会長の期間であった07 - 08年度から始めて既に約4年になる。私の全く偶然による気まぐれから発想した作品(駄作)の数々に、毎月よく付き合っていただけたものと感謝しております。本当のところは「もういいよ」と食傷気味であるのは重々承知の上で、それでも懲りずにコツコツと重ねていきますので、未永くお付き合い下さい。

さて、今月は8月初旬に訪問した台湾の「第24回アジア地域大会」での俳句交流の一駒をご披露してみたい。

好朋友(はおぼんゆう)

- メール友ならぬ俳友の彼女が出来た！ -

今夏、「第24回アジア地域大会」が台湾であり、8月4日～8日までの5日間参加した。私は台湾は初めての訪問であったが、近江八幡クラブの妙齢のご婦人と親しくさせて頂き、俳句を通じて楽しく交流する機会を得ました。

きっかけは私も彼女も、西宮クラブ、近江八幡クラブのブリテンにそれぞれ俳句を投稿しているご縁からである。

俳友の彼女、すなわち近江八幡クラブの小西逸子さんはここ2～3年ほど前に入ってこられました。ご存知のように広島、近江八幡、西宮の3クラブは約10年ほど前からDBCの交流を継続していますが、小西さんとはごく最近の交流である。

6月に京都で開催された「西日本区大会」で、私は会社のOB会の機関紙に投稿した句集を差し上げたところ、俳句が取り持つご縁で交流が始まった。そこで今回のアジア地域大会で台湾に行った際、行動を共にさせていただき色々とお話を伺った。故宮博物館から食事会や台湾の温泉(リゾートスパ)と楽しい一時をご一緒させて頂きました。

帰国の途上、飛行機に搭乗する直前に小西逸子さん

から、名刺の裏に書いた一句を頂戴した。「関空に着くまでにお返事頂戴ね。」と申し添えられた。それからの2時間が大変で、歳時記もなければ、辞書もない中で、あれやこれやと頭を捻り、でっち上げたのが以下の駄作である。

再会の はおぼんゆう 暑さ身に染む 好朋友 逸子

台湾の いっかさい 一夏祭過ぎし 旅の空 直行

と相なりました。関空に着陸30分前に、お渡ししてトイレに行ったら席に戻ると、彼女が私の席にチョコッと座って待ってられました。「ねえ、ちょっと教えて！ この「一夏祭」って言葉があるの？」と。そこで苦し紛れに「『ひと夏の祭り(大会)』と入れると字余りになるので、『一夏祭(いっかさい)』とした造語ですよ」と返答すると、「あら、そうなの？」と、首を傾げながら自席に戻って行かれた。この「好朋友」が私のことかと思っていたら、その前に少し彼女とお話をしてみると、彼女は以前近江兄弟社にお勤めだったご主人(故人)とは、よくこの台湾に来たことがあり、昔の友人に再会したとのこと。その方が「好朋友」だった。とんだ勘違いもあったものだった。

また、彼女は若い頃からご主人とテニスに勤しんでおられて、小柄ながらも65歳まで国体の選手として活躍。84歳の現在でも現役でプレイされているスーパーおばあちゃんであるとのこと。生前のヴォーリーズ氏とも交流があったようだった。そうこうしている内に関空に無事着陸してお別れの際に、「大変楽しい旅行だったわ。またいい作品が出来たら見せて下さいね。」と約束を交わして帰途に付いた。今回の出来は最悪で、この次は何とか挽回しなければと悶々とする毎日である。



左から2人目が小西逸子さん(左から池田、小西、太田、北村の各氏)

今回のアジア地域大会は参加メンバー655名、コースコンペ参加のコースメンバー約180名を含む合計で約800名を越える大きな大会になりました。韓国エリアが今期から独立するので10,000名のアジア地域が4,000名になります。それだけに台湾の皆さんの熱の入れようは



今期より独立する韓国を含めて15区の各理事さんたちラインアップ



ペデルセン国際会長(ノルウェー)の挨拶

「すごいなあ」と感心するばかりでした。地元台湾以外の参加者の約62%は日本からの参加の内、西日本区103名、東日本区82名、六甲部からは西宮3、神戸西1、神戸ポート2、宝塚9、芦屋3で合計18名でした。日本から近い立地なのでもう少し参加があってもいいように思いました。またテーマが「NATURE + CULTURE = FUTURE」とは分かりやすい語呂合わせである。特に東日本大震災後の大会であることも受けて、支援活動も盛んであったし、特に基調講演の台湾キリスト教大学の黄正忠(Niven Huang)博士の「Sustainable Development」は環境問題を中心に、我々の行く末を示唆しているかのような大きな衝撃もあり、素晴らしい内容でした。一度博士の著作を読みたいものです。

音を重なる日々は心を重なる日々に-47-



楽団あぶあぶあ & ミュージカルチーム

LOVE 代表 ひがしの ようこさん
音を重なる日々は心を重なる日々に
- 47 演 浩一メン

楽団あぶあぶあでは秋の定期公演を予定しております。

2011年11月6日(日)うはらホールで開催します。詳細が決まり次第追ってお知らせいたします。楽団あぶあぶあ & LOVEをご支援下さい。

あぶあぶあ & LOVE 基金へのご支援のお願い

「あぶあぶあ & LOVE」の活動資金をご支援下さい。活動拡大のために、ご支援いただく金額は問いません。

郵便振替:神戸 00940 - 6 - 71757

口座名:あぶあぶあ & LOVE



触主面登場 2

「触主面登場」はプリテン委員長だけが張り切っていて、皆様の原稿が整いませんでしたので、10月号から開始ということにいたします。申し訳ありませんでした。

従って、順次お早めに原稿を送って戴くようお願いいたします。毎回3人づつ原稿をお願いして、早く到着した方から掲載してきます。趣旨はあくまでも「オリンピック精神」のようなもので「参加することに意義がある」ということにしておきます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

次月以降の執筆予定は以下の通りです。

10月号:藤原 百合子ウイメン(9月20日迄)

11月号:堤 一幸メン(10月20日迄)

12月号:馬場 貴英メン(11月20日迄)

「甲子園でお逢いしましょう」



山本常雄メン

6月の東北・宮古支援巡業の最終日に、もりおかクラブの長岡会長・井上ご夫妻らと懇親会を持ち、お世話になりましたが、長岡会長の御子息が花巻東高校の野球部員で予選を勝ち進んでいる時期でもありましたので、次は・・・**甲子園でお逢いしましょう**・・・と、冗談を言ってお別れしました。ところが、ひょうたんから駒ではありませんが、出場が決定したと馬場直前会長にメールが入り、8月3日に抽選会があり、それで日程が決まるが、今から宿が取れるかと心配されていたので、西宮クラブがホームステイを受け入れ

ますとメールを送り、キララ(JR住吉駅前の我が拙宅)に8/5～3泊して頂きました。

移動は全工程(2,000km)長岡会長が運転されたのにはびっくり。長岡ご夫妻、大関元会長、井上メネット、長岡氏の甥っ子・砂倉裕太君(中3)[未来の高校球児:来年より青森県青森工業就学]の5名が来神。8月7日の帝京戦には芦屋クラブから数名と西宮クラブから、濱崎・馬場(一)・浅野・石井・山本各メンがアルプススタンドに足を運び夏の暑さにも負けず、大声援を行ないました。

被災県でもある岩手県代表とあって、球場内は花巻東応援一色。結果は7-8と惜しくも届かず惜敗。よく戦ったと選手たちを褒め称え、我々は春日野道の「まつや」にて残念会を開催し、今回は砂倉君が選手として…
甲子園でお逢いしましょう…と再会を誓い散会しました。



もりおかクラブ、芦屋クラブ、西宮クラブの面々と懇親会

先遣隊 盛岡・宮古へ行く

濱崎 進一 会長

1. 被災地支援訪問目的

西宮ワイズメンズクラブとして、被災地をどのように支援するのか。我々先遣隊3人でその目的を検討してみた。

1年から3年のスパンで考えられる支援計画を作るために、現地の方々の声を聞き、気持を受け止め、今後とも継続していくための先遣隊とする。現地団体、他クラブとの関わりをどのようにしていくのか、協議または調査、検討する。

2. 被災地訪問調査内容

池田勝一宮古支援ボランティアセンター長(同盟より派

遣中)と支援について協議し、ボランティアセンターとして提供されている宮古教会森分牧師とも懇談しました。

池田さんより宮古教会員北村さん(元障がい者施設の職員)の紹介を受け、池田さんの紹介で加藤さん(NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネットRainbow Net)の紹介を受け、今後の支援について協議する。宮古地区の障がい者支援団体を支援するのに何か良いアイデアを得たい、との要望に加藤さんより宮古圏域の福祉施設、作業所等15団体で構成する「いきいきフェア実行委員会」を纏められている昆野さんを紹介して頂く。昆野さんと今後の支援について協議し、昆野さんを現地窓口としてYMCA、賀川記念館等において15団体の製品を販売することについて、協力の約束を得ました。その他昆野さんの紹介にて宮古のお菓子業者等の方へも訪問した。

盛岡YMCA 濱塚総主事を訪問し、支援金を渡し、今後の支援(宮古圏域)について協議しました。また、もりおかワイズメンズクラブ 長岡直前会長、井上メン、井上メネット、菊池メン、濱塚総主事を交えて懇親会をもちました。

3. 現地被災地区の状況

宮古ボランティアセンター(宮古教会)のある宮古市街地区はまだ住居、商店、市役所、学校等施設が残っており、一部商店が再開されていた。しかし、残った住居等の復興については、1階の床下が津波によりヘドロで覆われ、建物の外見は余り損傷は少なくとも、床をはがし、ヘドロの除去、洗浄、清掃、改修の作業をしてやっと臭いを除去することが出来る。その作業内容を、日々現地ボランティアの方々がされている現状は大変ご苦労を感じました。宮古市街地区を離れた、山田町、田老地区は津波による被害は壊滅的で、建物が崩壊しており、がれきも除去されて、更地状態です。

宮古の主な産業である漁業関係設備も破壊され、漁船も残った数はごく少数である。復興には場所、資金、時間は必要と思われます。

4. 今後のクラブの支援について

現地ボランティアセンターの活動は、我々クラブメンバーが住居等の復興作業は体力的には難しく、訪問期間を

確保することも難しい。また、若いリーダー達をボランティアとして募り、直接派遣活動するにも資金的に難しい。

昆野さんが代表を務められている福祉施設、作業所等15団体で構成する「いきいきフェア実行委員会」の製品を販売する事を支援とする。YMCAのバザー、各種催し、賀川記念館バザーで宮古コーナーを設け製品を販売する。六甲部の他クラブにも協力を仰ぐ。賀川記念館4階に常設

の販売コーナーを設置し、製品のサンプル展示PR、販売をする(馬場(一)メン、賀川記念館の協力をお願いする)。製品の販売価格は、いきいきフェア実行委員会からの購入価格とする。

(FINE)

